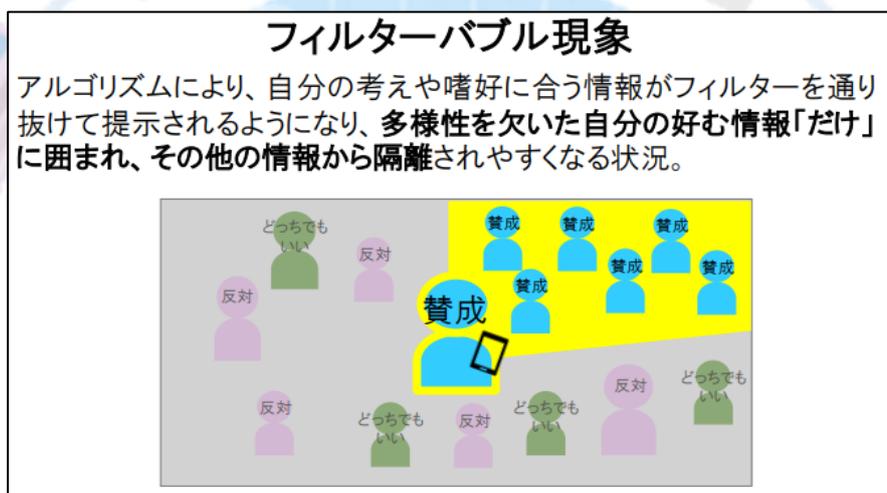


子どもたちは、文房具のようにタブレットを使い、日ごろから、インターネットに接続できる環境の中にいます。たくさんの情報を目にする機会がありますが、それらは真実か、それとも虚偽なのか見極める力を育てていかなければなりません。自分に興味のある情報ばかり目にとると、視野が狭くなってきます(フィルターバブル現象)。



出典：内閣府「Society5.0時代の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」、令和4年(2022年)

今回、子どもたちは「情報を比較・分析してみよう」という学習に取り組みました。テーマを選び、それについてWEBで検索し、肯定意見と否定意見をまとめ、その上で、自分の意見を考える学習でした。多様な意見がインターネット上で飛び交う中で、自分と同じ考えや、自分と近い考えばかりを目にとると、偏った見方になってしまいます。様々な意見や考えがある中で、自分の考えを大切にしてほしいと願っています。

本日の学習の関連動画になります。

見ていただくと、より一層今日の学習の様子が分かるのではないかと思います。よろしければご覧ください。

メディア・リテラシー入門～ネットの情報～ | アッとメディア ~@media~ | NHK for School

https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180463_00000

